

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【653】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目06 商店街活性化助成事業				
予算区分	款	07	商工費	所属	商工観光課
	項	01	商工費		
	目	02	商工業振興費	連絡先	0594-24-1199
	細目	003	商工団体育成事業費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	商店街発展会または各振興組合	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○商店街等が実施するイベント事業に対し補助金を交付する。 ・補助率：1/3 ・H26年度1回 ・H27年度1回</p> <p>○まちづくり桑名が実施する空き店舗対策活用事業に対し補助金を交付する。 月額5万円限度 1年間助成 ・H25年度4件 (前年度からの繰越4件) ・H26年度5件 (前年度からの繰越5件) ・H27年度5件 (前年度からの繰越4件)</p> <p>○深谷商工発展会が実施する物産展に対し補助金を交付する。 ・助成率：1/2</p>	理由	すでに民間のノウハウを活用しているため、本事業においてはこれ以上の民間関与は困難であると思われる。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	商店街および中心市街地のにぎわいの創出と商業の活性化		

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)				
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	補助対象団体数	団体	30	30	30	30
活動指標	商店街活性化助成事業補助件数	件	2	2	2	2
	空き店舗対策事業補助件数	件	1	1	1	1
成果指標	空き店舗への新規出店数	店	目標値 6	4	5	5
			実績値 4	5	5	
	イベント等の入込み客数	人	目標値 40,000	40,000	40,000	40,000
			実績値 40,000	40,000	40,000	
投入コスト	事業費計		2,550	2,040	2,040	2,200
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	2,550	2,040	2,040	2,200
	所要人員 (正職員)	人工	0.01	0.01	0.02	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00	
人件費合計	千円	70	71	137		

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>○ あがっている ● 横ばい ○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>○ 拡充 ○ 休止廃止 ● 現状維持 ○ 見直し ○ 縮小</p>	<p>空き店舗事業は商店街を活性化させるために必要不可欠な事業であり、継続していくべき事業である。</p>		